



こんにちは。北野です。

早いもので、10月1日で創業9年目に入ることができました。

これもひとえに、お客様・親戚・友人・知人のおかげです。

本当にありがとうございます。

9年前、独立したてのことを思い起こします。

家族・友人含めて一人の賛成者もなく強行独立したような形でしたが、それでも今では「独立して本当に良かった」としみじみ感じます。



サラリーマン時代には毎月一定額の給与が「当たり前」でしたが、独立となれば

当然不安定になります。だからこそ千円、一万円の価値、ありがたさを再認識できました。

また、人のあたたかさ、廻りから生かされているということも心から実感するようになりました。

元の生活では、このことに一生気づけなかったのではないのでしょうか。それが自分自身で最もよいことだと感じています。

今後も金額の大小ではなく、1件、1件丁寧に確実に喜ばれる仕事をし、『キタノ住研があって良かった』といわれる存在価値のある会社にしてまいります。

今後ともよろしく願いいたします。

今月の旬レシピ /



ホクホクとした食感とほんのりの甘みがこれからの季節にうれしいかぼちゃ。今回は、かぼちゃの薄切りをピザに。彩りも鮮やかだから、パーティなどにもぴったりですよ！

材料(直径25cm程度)

- ピザ生地  
強力粉 ..... カップ1.5(150g)  
ぬるま湯 ..... 50cc~100cc  
ドライイースト ..... 大きじ1弱  
砂糖 ..... 大きじ1

- トッピング  
かぼちゃ ..... 150g程度  
ピザソース ..... 適量  
溶けるチーズ ..... 適量

※その他、玉ねぎ、シーフードミックス、ベーコン、ピーマンなどお好みの具材を。

作り方

1. ドライイーストと砂糖を入れたボールにぬるま湯50ccを注ぎ、溶かす。  
※溶け残りが無いようにしっかり混ぜるのがポイント。
2. ①に強力粉を入れ、場合に応じてぬるま湯を加えながらこねる。
3. 全体的にまとまった感じになったら、10分ほど置いておく。  
※夏場なら常温でOK。寒い時期なら暖かい場所で。
4. 握りこぶし大の大きさが2倍ほどになったら生地を平らにのばす。
5. 伸ばした生地にピザソースを塗り、くし型に切り、レンジで4分ほど加熱したかぼちゃを並べる。  
そのほかのトッピングも載せ、チーズをかける。
6. 220℃に温めておいたオーブンに入れ、17分間熱すると完成！

かぼちやのピザ



みなさまの住まいに、「暮らしやすさ」をご提案!

10月号  
2009.OCTOBER

ホームドクター キタノの

# 住まいのビタミン

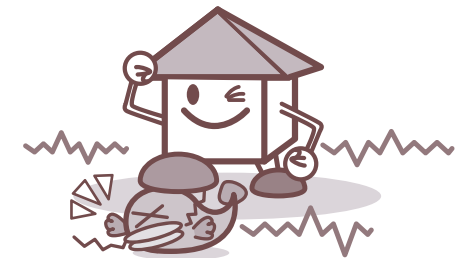
\*\*\*\*\*

キタノ住研はおかげさまで9周年を迎えました!

**特集** 突然の揺れから  
自分の身と財産を守る!

## 「大地震にも強い家」の秘密

いつ来るか分からない大地震。  
万一の事態になったとき、あなたの家を  
より安全にする工夫をお教えします!



ホームドクター キタノの「住まいの診断室」  
～お役立ち情報⑥ 【耐震補強工事編】～

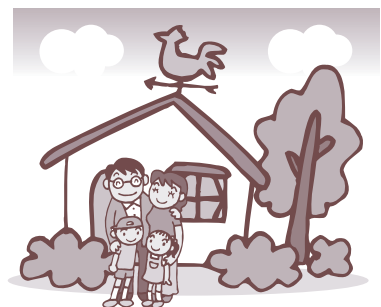
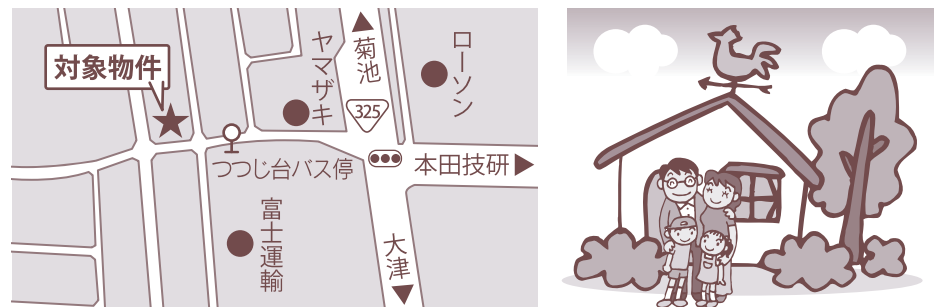
今月の旬レシピ「かぼちやのピザ」



キタノからのお知らせ

～不動産物件情報～

- 売家(菊池郡大津町つつじ台団地内)
- 木造2階建
- 住所: 菊池郡大津町大字杉水
- 築年月: 平成5年4月
- 土地面積: 72.80坪 ■ 建物面積: 59.73坪
- 価格: 2380万円
- 大津つつじ台バス停1分



# 突然の揺れから自分の身と財産を守る! 「大地震にも強い家」の秘密

いつ来るか分からない大地震。そんなまさかの時に、家族の命を守ることができる家にするためには、いつもの心がけとちょっとした工夫が必要です。今回は「大地震にも強い家」の秘密をちょっとお教えします。

【参考文献】■安震技術研究会 著『地震に強い建物』ナツメ出版 2003年 ■松崎 孝平 著『大地震から身を守る耐震補強の知恵』日本文芸社 2006年

## まずは簡単なチェックから! ~我が家の耐震チェック表~

まずは、住まいがどれだけ地震に強いのかをチェック! あくまで目安ですが、危険な兆候を見逃さないようにしましょう。

- 1981年(昭和56年)以前に建てられた。  
新耐震基準に適合しておらず、いまの基準では耐震に関して不合格になる恐れがある建物です。
- 柱が傾いている。  
柱の上部にクギがピンを刺し、そこに50円玉を通した糸をかけて垂らしましょう。上部と下部の糸と柱の距離を比較します。
- 床が傾いている。  
ピンポン玉などを床に転がして、きちんと止まるかどうかで判断します。
- 基礎や壁などに亀裂が連続する。  
コンクリートの基礎、モルタルの壁などに3ミリ以上の亀裂が連続して入っているなど。
- 1階の隅にタイル式の浴室がある。  
下でも述べますが、水分がしみ出ている恐れがあります。
- シロアリが発生したことがある。  
これも下で述べますが、基礎に問題が残っている場合があります。
- 家を真上から見ると、L字やコの字など不整形。  
建物の一部分に力が集中し、ねじれ現象を起こします。
- 大きな吹き抜けがある。  
家の中に大きな吹き抜けがあると、地震の揺れが一部分に集中、強度が低下します。
- 12畳以上の続き間がある。  
柱が少ないため、強度に不安があります。
- 建物の1階に駐車場を設置している。  
建物全体のバランスが崩れやすくなります。
- 全体に窓が多く、南側が掃き出し窓になっている。  
開口部が多く、壁や柱が少ないこととなります。
- 2階を増築している。  
もし1階の補強が不十分であれば、バランスが悪くなるため強度は弱くなります。
- 木造の家に鉄筋コンクリートの建物がくっついている。  
揺れによって、鉄筋が倒れ込み木造家屋を壊す可能性があります。
- 重い日本式の瓦屋根である。  
重い屋根は地震に対して不利となります。
- 天井に雨漏りの跡がある。  
水分により、柱などが腐っている可能性があります。
- 屋根の上に長年放ったままの太陽熱温水器が載っている。  
落下の危険があります。
- 2階にピアノ、本棚など重い家具を置いている。  
その下の1階部分に寝室があると大変危険です。

※チェックが多ければ多いほど、地震の際の「危険な家」です。気になる点があれば、すぐ専門家による「耐震診断」をおすすめします。より細かい項目で、プロの目でしっかり調べさせていただきます。ぜひキタノ住研にご相談ください。

### \*家の足元「土台」を弱くする水分とシロアリ\*

#### ○見落としがちな浴室のタイル

家の基礎となる土台部分が腐っているのは地震が起きたときひとたまりもありません。ここで気をつけたのは戸建ての1階にあるタイル式の浴室。タイルの目地から漏れた水が土台を腐らせることがあります。こんなときは水漏れを完全に補修するのは難しいので、ユニットバスへの取り換えがおすすめです。

#### ○シロアリ予防と対策

シロアリは「強い家」の大敵です。例え駆除していても、シロアリに食べられた柱や土台がそのままであれば危険。早めに耐震補強の工事をおすすめしています。また、シロアリに襲われていない家でも予防が肝心です。家の周りに木や新聞紙、発泡スチロールなどシロアリのエサとなりそうなものを置かないようにしましょう!



### \*屋根の重さも重要ポイント\*

#### ○建物が軽ければ軽いほど地震に強い家に

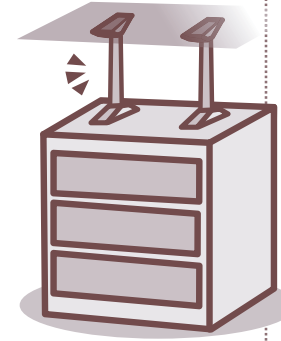
屋根に限らず建物全体が軽ければ軽いほど地震に対して「強い家」になります。ですから重い瓦屋根の住まいは、大きな被害を受ける可能性があります。そのため今では軽くて丈夫な平型スレートや金属板の屋根も多くなってきました。もちろん「伝統的な瓦屋根でなくては」という方も少なくありません。その場合、1981年の新耐震基準以後の家であれば安心ですが、それ以前の瓦屋根の家は危険度が大きくなります。該当する方はできるだけ早く耐震診断を受けるようにしましょう。



### \*家具を「凶器」にしないために\*

#### ○家具の倒壊を防ぐグッズあれこれ

家具の倒壊を防ぐグッズにL字型やチェーン型などの金具があります。ただしむやみやたらに壁に付けるのは×。きちんと柱がある場所に取りつけるようにしましょう。このほか難しいのがテレビや冷蔵庫、ピアノなど。テレビや置物は、市販されているジェル状の粘着シートを。重い冷蔵庫はチェーンと突っ張り棒で確実に固定します。ピアノにはネジやクギを使えないので、スリングベルトというナイロンの帯で固定します。ただ、重量があるため壁への固定は下地補強が必要です。ぜひご相談ください。



### \*配置換えで安全な部屋に!\*

#### ○倒れる方向を想定し配置換えを

大きな地震が起こればどんなに対策していても家具は倒れます。倒れると仮定して、地震が起こったとき、逃げる際の2つの場合を想定して家具を見直してみよう。倒れる方向を想定し、その方向にベッドや入り口がないか確認。さらに照明なども落ちてくると大変危険ですから、天井に直に取りつけるタイプが安心です。どうしてもペンダント照明にする場合は、チェーンなどで振れ止め対策を。また、ピアノや本棚など重い家具が2階にあると家に大きな負担がかかります。重い家具はできるだけ1階に移動するのがおすすめです。



今回の特集でも紹介した「耐震補強工事」。最近大きな地震が頻発したこともあり、ご相談が増えている事例です。左のチェック表にもありましたが、特に1981年(昭和56年)以前に建てられた家は現在の耐震基準を満たしていないケースが多いため、補強をおすすめしています。

耐震補強といっても、住居の状態によってさまざま。一般的には、1階天井裏の補強は天井をはがす必要があるため、リフォームをされるタイミングで工事を行うのがおすすめ。「そこまでは…」という方は、小屋裏と床下の補強工事が最適です。この2箇所は工事できる空間がありますので即対応可能です。これだけでもかなりの補強効果はありますよ。

そのほか、住居に応じた耐震補強工事についてもぜひお気軽にご相談ください。

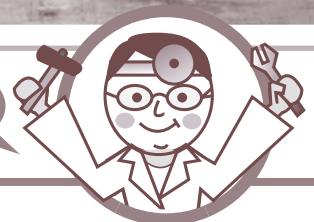


◀「アングル金物取付」垂直のゆれに有効



◀「プレート取付」垂直のゆれに有効

お気軽にどうぞ!



家具の固定器具の取り付けから大幅なリフォーム工事まで何でも対応いたします。

詳しい情報は、キタノ住研までお気軽にご相談ください。

ご相談・お見積りは無料です!

